

さわやかトカラ情報

発行元 十島村教育委員会

〒892-0822 鹿児島市泉町13番13号 099-227-9771

E-mail toshima-ky@tokara.jp

一隅を照らす十島の教育

四月～いのちのひしめき

十島村教育長 原口 英典

「^{そうじょう}日野草城の句に『ものの種 にぎればいのち ひしめける』という一句を見出す。読むにドキッとさせられる。一見微動だにせぬ種ではあるが、その種を、時にそっと、時にギュッと一握りしてみる。

かすかな手触り、握りからくるかすかな音。掌に、妙に種自身のうごめきを感じる。押し合い、^{押し}押し合っているかのごとき種の鼓動、躍動が伝わってくる。

心耳を澄ませば、それはまさに、「物言わぬいのちの声」であり、「物言わぬいのちの衝動」であり、「震動」であり、ひしめくいのちそのものではないのか。

作者のそのような敏なる感性。そこに作者の非凡なる生命感・人間観を覚えずにはいられない。そのような感性は、種を、ただ見て、ひしめくいのちを感じるのではなく、握るといふ具体的な行動を通して、ふつふつと芽吹きの時を待つ種のひしめき合ういのちを感じ取っているのである。

今、十島の教育にあって、目の前の一人の子、また、二人の子とかかわることを通して「教え」と「学び」の交響楽を奏でている先生方は、この一句が詠い出す真意を丸ごと味わっているだろうと思われる。

具体的に子どもに寄り添い、具体的に子どもの魂をギュッと握りしめようとするとき、あの子この子の内なる声や躍動を感じ取れるのであろう。一隅を照らす十島の教育はかくありがたい。

と外にも出よ触るるばかりに春の月（汀女）

【 村教育委員及び事務局職員等紹介 】

平成24年度のスタートにあたり十島村教育委員会教育委員及び事務局職員等を紹介いたします。

- ・永田幸男 教育委員長
- ・坂元 勇 教育委員
- ・矢澤孝雄 教育委員
- ・原口英典 教育長

《教育委員会事務局職員等》

- ・竹内照二 教育総務課長
- ・日高広登 教育総務室長
- ・富田忠弘 社会教育指導員
- ・福永峰子 事務補助員
- ・安楽正一 学校事務専門員
- ・繁山良則 学校事務主査
- ・鮫島久子 栄養教諭

〔 新任職員紹介 〕

安楽正一 学校事務専門員が、さつま町立紫尾小学校から、江口勉学校事務職員の後任として転入しました。前任者同様よろしくお願ひいたします。

【 村内各学校始業式、入学式挙行 】

村内小・中学校の始業式と入学式は、4月6日（金）に挙行されました。新入生は、小学生口之島1人、諏訪之瀬島1人、宝島2人、中学生口之島1人、中之島1人、諏訪之瀬島1人、小宝島1人、宝島1人、計9人でした。

4月10日現在の児童生徒数は、次のとおりです。

学校名	口之島	中之島	平島	諏訪之瀬島	悪石島	小宝島	宝島	計(人)
小学生	6	8	5	6	5	9	7	46
中学生	3	1	2	3	2	4	1	16
計(人)	9	9	7	9	7	13	8	62

【 新しいお友達 ようこそ十島村へ！ 】

今年4月10日までに、次の10人の御友達が十島村の学校に転入しました。皆さんは、今、仲間や先生方と楽しく学校生活を送っています。これまでに比べ不自由なこともあるかもしれませんが、不自由さの中のすばらしさをぜひ味わってほしいものです。

イターン家族 高本宇宙さん（口之島小1年）

高本海人さん（口之島小5年） 福徳凌牙さん（平島小2年）

福徳史悠空さん（平島小3年） 福徳羽音さん（平島小4年）

Uターン家族 小林葵さん（中之島小3年）

山海留学生 有馬凜さん（小宝島小2年）

有馬蓮さん（小宝島小3年） 中別府聖さん（小宝島中3年）

教職員の家族 永吉美遥さん（口之島小2年）

永吉美悠さん（口之島小4年） 山中悠暉さん（諏訪之瀬島小1年）

山中雪嘉さん（諏訪之瀬島小4年）

【 転入教職員壮行会一闘志いだきてー 】



平成24年度本村に赴任される新任教職員23人の壮行会は、予定より2日遅れて、4月4日（水）20時からフェリーとしまのレストランにおいて、村長・副村長・各課長・役場職員及び鹿児島教育事務所の先生方の御臨席をいただき、厳粛に行われました。

原口英典教育長は、「島で待つ子どもたちの魂に火をつけて」と激励。引き続き、敷根忠昭村長及び緒方玲子鹿児島教育事務所長から激励の言葉をいただきました。転入教職員を代表して口之島に赴任される法花津武正校長が力強い挨拶をされ、続いて、宝島に赴任の池田恵美教諭は、公務員としての決意を宣誓されました。出席された先生方は、夢と希望に燃え、真剣な面持ちでした。その後、お茶での乾杯、職員紹介、新任者自己紹介、最後に、「十島のうた」で会を閉じました。

同夜23時50分、港を埋め尽くした大勢の方々の見送りを受けて船出しました。教育長と課長が随行し、各島に着任の案内をしました。それぞれの任地での御健勝・御活躍を期待しています。

【 セブン・アイランド移動図書館の御利用を！ 】

本年度も本村伝統ある「セブン・アイランド図書館」を、4月23日（月）出航のフェリーとしまで巡回しました。各島の希望図書が配本されています。各学校・地域にそれぞれ約20冊程の図書が、新調したセブン・アイランド移動図書館（箱）で、ひと月もしくはふた月毎に巡回されます。ちなみに本年度の図書は、国の地域活性化事業光交付金で購入した児童生徒用149冊、一般成人（含幼児）用150冊計299冊です。

読書は、「心の栄養源」とも言われます。本年度も多くの方々が本図書館を御利用くださるようよろしくお願いいたします。

【 平成24年度のファミリー劇場「出演団体」等の御希望を！ 】

十島教育委員会では、村民の豊かな情操を養い地域文化の高揚をめざして、平成14年度から毎年「十島ファミリー劇場」を開催しています。

平成24年度の「出演団体」「開催期日」の希望を各島の社会教育委員にお寄せください。

各島の社会教育委員からの教育委員会への報告は、6月11日（月）までとなっています。

【 子どもたちの作品 】（南日本新聞「若い目」 <H24.4.3>より）

「一ばんいいきろく」

宝島小小宝島分校 現2年 東 ももか

わたしは、マラソンがとくいです。ようちえんのマラソンでも一ばんでした。わたしはぶん校のじきゅうそうたいかいでも、一ばんになりたいとおもいました。

じきゅうそうのコースは、ゆどまりーしゅうコースでした。800メートルくらいはしりました。わたしは、じきゅうそうのめあてを、「あきらめないではしりぬける」にしたので、くるしかったけどとまらずがんばりました。とうみんのみなさんがおうえんをしてくれたので、うれしかったです。

きろくは、4ぶん17びょうでいままで一ばんいいでした。わたしは、とびあがるぐらいうれしかったです。がんばってよかったなあとおもいました。

2ねんせいなっても、さいごまであきらめずにがんばりたいです。

投稿時の学年は1年です。

十島村の小・中学校からのメッセージ 平島小学校諏訪之瀬島分校

教頭 原 憲正

諏訪之瀬島への赴任をきいたとき、不安を感じるよりも先に、まずその島がどこにあるのかを知らない状態でした。そんな状態でしたが、赴任するまでに分校のブログをとおして教育活動の様子を知ることができたので、実際赴任するときには特に不安はありませんでした。

店が1軒もないことを知り、食料品をはじめ買い物はどうするのだろう、と思っていましたが、生協やアマゾン等でのネットショッピングができるので、今では、特に不便を感じません。むしろムダな買い物をしなくなり、本当に必要なものとそうでないものが見えてきました。島には病院もありませんが、診療所に看護師が常駐し、医療体制が整っているの、こちらも全く不安はありません。

小・中併設極小規模なので一緒に活動することが多く、それぞれの学習指導の様子も見えるので、小・中連携した指導の在り方や、特に、教科の系統性といったものを明確につかむことができます。また、ここでは一人一人と向き合っの指導になりますので、本当の意味で「個に応じた指導」の実践ができます。教育機器も充実しており、ICTを活用した授業交流なども盛んに行なわれています。自己の指導力や教育技術を磨くもってこいの場所と言えるでしょう。

【 教職員仲間である「あなた」へのメッセージ 】

「へき地小規模の教育は、教育の原点」と言う言葉どおり、教育の原点を見つめ実践できる場が十島にはあります。その中でも「何も無い島」と言われる諏訪之瀬島。何も無いからこそ本当に必要なものが見えてくる。教育の原点と言えるこの地で指導にあたってみませんか。きっと実りあるものをこの地はあなたに与えてくれます。